社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

「常総ふれあいの杜」広報誌　No.19　2013年　春号（季刊）

ふれあい通信

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel　0297−27−5016
Fax　0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp

発行責任者　藤原裕也
編集員　広報委員会

「生活、活動、社会参加」の実現に向けて

理事長代理　宇都宮和子

ふれあいの杜も七年目に入り、ご利用者の皆様も、個々の個性を発揮、時には職員が身体を張ってご利用者を支えたり、走ったら職員も追いつけず、運動能力の重要性を感じています。

四月には新たな企画として今までご利用者が取り組んできた作品と音楽のコラボレーション「春のちぎり絵展覧会」のオープニングコンサートが、開かれました。作品は一週間野外に展示、地域の方々にも見て頂き、ご利用者一人ひとりの持つ芸術の力に触れる、素敵な企画でした。

「生活」「活動」「社会参加」これが新年度のふれあいの杜の目標です。自分達で、出来ること、日々行っていることの継続を大切に、野外展覧会はその第一歩です。

また、この四月から職員も多く与えられ、夜勤体制は三人でスタートです。職場内の研究部会も積極的に動き始めました。新年度も夢と希望一杯の「ふれあいの杜」です。

ご家族の皆様のご協力よろしくお願い致します。

スナップフォト

春のちぎり絵展覧会

四月の約一週間、ロータリーにて「春のちぎり絵展覧会」を行いました。

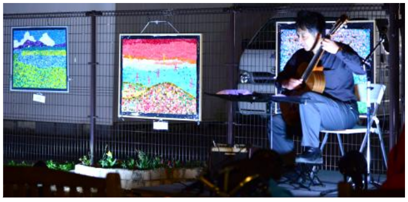
まずは、展覧会についてほんの少し説明をしますね。この展覧会で使用した絵は、ハンドクラフト班が今まで制作してきた「貼り絵」です。ロータリーの他にも、地域交流棟に個人制作の貼り絵やダンボールアートを、展示いたしました。

オープニングイベントの様子ですが、ロータリーに飾られた貼り絵たちが、ライトアップをされ、おしゃれな雰囲気が漂っていましたね。そしてに美しいギターの音色が、展覧会の会場を盛上げていきます。クッキーやケーキを片手に、みんな笑顔で楽しまれました。

残念ながら、悪天候のため、一週間という期間中に数日しか展示出来ませんでした。展示の準備をご利用者と支援員が一緒に行い、普段とは違った活動を行うことが出来ました。

今回、展示できなかった作品も有りますので、また次回の展覧会に向けて、作品作りに頑張ります。

（後ノ上友里）



※ボランティアに感謝します。
喫茶／安部辰美様、井出幸枝様、須田晶子様、高橋和子様、中山小夜子様、安田春江様
音楽／山田国昭様

レクリエーション班、誕生

　四月から新設された、レクリエーション班です。ご利用者一人ひとりに合わせ、毎日笑顔で過ごして頂ける場所にしたいと考えています。

　ぽかぽかと晴れた日には、外のロータリーで散歩をしたり、ボールで遊んだり、シャボン玉で楽しんでいます。

　屋内では、音楽を聴いたり、楽器を演奏したりして、身体を動しています。

　みんな！今日も楽しい事いっぱいしようね！

（安藤裕子）

リニューアル、菓子工房

　菓子工房のクッキーが種類を増やして六月に新登場します。クランベリー、ゆず、オレンジピールチョコ、くるみ、レーズンアーモンド、バナナチョコの六種類増えて、現在の四種類（プレーン、紅茶、珈琲、抹茶）と合わせて全十種類となります。いろいろと試行錯誤を重ねた新作クッキーは、ご利用者の努力の結晶です。箱詰めもあるので、お好きなクッキーをギフトにいかがですか？ぜひ、お味見を。

　また、ふわふわしっとりの、シフォンケーキも六月の販売に向けて準備中です。よろしくお願い致します。

（大根和美）

ＫＧ大運動会

　天候に恵まれた運動会。ユーモア溢れる仮装競争はじめ、紅白玉入れ、大玉転がし、それぞれ施設の一生懸命さが伝わるレースでした。続いて、初の試みになる、応援団とご利用者による「ソーラン節」皆さんの温かい歓声と、アンコールまでいただき、大成功！本当に素敵な応援合戦が出来ました。

　そして、やって来ました真剣勝負！ご利用者と職員が力を合わせた四施設合同リレーは、応援の声も力が入り、とても活気溢れるレース展開でした。

　みんなの力によって本当に素晴らしい運動会を終える事が出来ました。また来年も楽しみです。

（冨田知花）

ゆうあいピック

　早朝はあいにくの曇り空で、一時は雨がパラつく中、大会スタート。時に笑顔で楽しく、時に真剣に競技が進み、ジャズバンドの演奏を聴きながらお弁当。午後の競技が始まる頃には、一面の青空が広がっていました。帰ってからも、皆さん興奮冷めやらず。話で盛り上がる方、施設内を走り回る方とても楽しいご様子でした。

（渡辺充）

ワァーイ、桜が咲いたよ

　厳しい冬も終わりを告げ、暖かい日が続き、桜の蕾も待ちきれないとばかりに、一斉に花を咲かせました。桜が咲いたよー。みんなウキウキワクワク。お花見しようよー。樹齢三十年を越すキングス・ガーデンの大きな木の下で、おやつを食べながら「今年の外出はどこに行こうか？」「お散歩もたくさんしたいね」と楽しい話題で盛り上がりました。春の柔らかな陽ざしを浴びて、みんなの笑顔も満開の一日でした。

（生井弘美）

ごろのびコーナー新設！

　リハビリ室の一角に、登場しました。プレイマットを敷きつめた、カラフルなスペース、「ごろのびコーナー」。思いきり手足を伸ばして、ごろごろ、のびのび。ボールプールでボールと戯れるもよし、気になるおもちゃや、支援員をめざし、コーナーを好きなだけ、移動しちゃいます。

　はいはい、ずりばい、膝立ち、背中をもそもそ…。

　思い思いの動きを発揮しながら、楽しい時間を過ごします。

（川原田千枝美）

与えられた時

　春は出会いと別れの季節です。私は、この春、幼少の頃からお世話になったおばあちゃんの「死」と、友が新しい歩みを始めるための「旅立ち」という、二つの別れを経験しました。▼いつも一緒にいた２人ではありませんでしたが、近くにいた人が遠く離れてしまうのは、とても悲しく、寂しく感じました。▼種を植えるのに時があり、引き抜くのに時があるように、人の人生には「時」があるのだと思います。▼今日、ふれあいの杜でご利用者と一緒にいて、笑って過ごす毎日も特別に与えられた「時」です。▼その「時」に思いを馳せると、ありふれた日常が輝きを増しました。

（高木緑）

ご挨拶／相談支援専門員の大澤あけみです。全てのご利用者に相談支援が必要となり、お声をかけさせて頂きますので、宜しくお願い致します。